



一般質問

佐々木 常子 議員

質問のねらい 安心・安全の当別町に

家族であるペットもいざという時の準備が必要。厚労省では同行避難のガイドラインを発表しており、同行避難所や車中避難できる場所が必要である。また、防災情報や緊急時の情報発信が非常に重要である。現

在はホームページとヤフー防災アプリによる情報発信があるが、多くの人が使っているLINE※¹での情報発信も有効ではないか。ゴミの種類を入力すると分別方法と収集日が分かるLINEのシステムも有効である。

ここが聞きたい ペット同行避難と車中避難

問 人間だけでなく、ペットにもいざという時の準備が必要。同行避難所や車中避難の場所を作つては。

な方やアレルギーのある方もいる。ペットの鳴き声等でトラブルも想定されるので、屋根付駐輪場などを検討している。また、安全な場所での車中避難や親戚宅等への避難も状況に応じ選択肢とするよう啓発していく。

答 人命が最優先される避難所には、動物が苦手



※ 詳細はこちらからご覧になれます。(環境省自然環境局総務課動物愛護管理室のページへ)

災害時におけるペットの救護対策ガイドライン (環境省ホームページより)

認知症チェックシート

「あれ、何かだなぁ」と思ったら、チェックシートの質問をチェックしてみましょう。3つ以上当てはまったら、かかりつけ医や「ゆとり」に相談しましょう。(この認知症チェックシートは、あくまでも目安です。認知症の診断は医師が行います。)

チェック項目	チェック
1 同じことを繰り返したり、聞いていない	
2 物の名前が出てこなくなった	
3 置き忘れや、間違いが目立つようになった	
4 以前はあった関心や興味が変わった	
5 だらしなくなった	
6 口癖をしなくなった	
7 読書や娯楽の感覚が不審かなくなった	
8 慣れた道で迷った	
9 財布などを盗まれたという	
10 ささいなことで怒りっぽくなった	
11 蛇口・ガス栓の締め忘れ、火の用心ができなくなった	
12 複雑なテレビドラマが理解できない	
13 夜中に急に起きだして騒いだ	

※ 少しでも気になることがあれば相談ください。不安な気持ちを一人で抱えずに！適切な医療と介護につなげます。

当別町地域包括支援センター (相談はここまで)

〒061-0234 当別町別132番地2 ●お問合せ 25-5152

「当別町認知症ガイドブック(認知症ケアパス)」令和2年3月発行
 発行：当別町福祉課
 〒061-0234 当別町別132番地2 当別町総合福祉センター 19号室
 電話：0135-25-3029 FAX：0135-25-5018



※ 詳細はこちらからご覧になれます。(当別町のホームページへ)

当別町認知症ガイドブック 認知症チェックシート

ここが聞きたい 脳の健康度測定を

問 今後も高齢化は進み、認知症の人が増えていくと予想される。早期発見により症状を進行させない対策を取ることもできるので、デジタルツールを使った脳の健康度測定を町として導入しては。

答 導入自治体があることは承知している。調査研究していく。また、早期発見・支援はきっかけ作りが重要。認知症ケアパスの中に、本人や家族が簡単にチェックを行えるよう工夫している。

ここが聞きたい LINE 情報発信・ゴミ分別

問 LINEを使って防災情報や緊急時の情報発信などを行って。また、LINEでゴミの種類を入力すると、分別方法と収集日が分かるシステムを導入しては。

答 利用者の利便性向上につながるため、町としても活用する考えだが、情報漏えいの報道もあり、慎重に見極める必要がある。運用開始の準備が整い次第、広報紙やホームページでお知らせする。

ここが聞きたい 3歳児健診に屈折検査を

問 3歳児健診で屈折異常等が見逃された場合、治療が遅れて十分な視力が得られない可能性がある。視力検査に加えて屈折検査の実施を導入すべきでは。

答 令和3年に日本眼科学会から北海道に対し、屈折検査機器導入に関する要望書が出されたが、いまだに導入自治体が少なく、効果や検証が十分でないため、今後も情報収集に努めていく。

※ 1 LINE… ユーザー同士でメッセージのやりとり、音声通話、ビデオ通話などができるアプリケーション。

一般質問

澁谷 俊和 議員



質問の
ねらい

魅力ある公園施設で人口減少対策

長期間にわたって使用禁止の黄色いテープが貼られている公園の遊具やベンチなどが見受けられる。人口減少を食い止めるためにも、魅力ある公園や施設が必要である。さらに、住んでよかったと思える、安心して

長く住むことができる町営住宅を目指して、今後の町営住宅の展望について、現時点の計画の基本的な考え方を含めた概要について明らかにするよう質した。



黄色いテープが貼られた遊具

ここが聞きたい 使用禁止の黄色いテープ

問

公園の遊具やベンチで、壊れていたり、壊れる危険があるため、黄色いテープを貼り使用禁止としているものがあるが、それが長期間続いている状態が見受けられる。現状と改善の方向は。

答

9月末でベンチ8基、遊具20基を使用禁止としていたが、ベンチは令和4年度に補修、遊具は12月中旬に全て撤去の予定。今後は、遊具等の種類や設置の必要性など地域実情を踏まえ見直す。

ここが
聞きたい

住んでよかった町住建設を

問

町営住宅は築40年程度までは長寿命化計画で改善すべきだが、50年近く経つものが多く長寿命化計画では無理。年度内に示すと言っていた町営住宅の計画について現在の基本的な考えは。

答

現在の概要は、老朽化している末広団地や平屋の春日団地などは段階的に廃止し、新団地の建設を図る。比較的新しい春日団地は長寿命化を図る。二重投資とならないよう効率的に集約する。



末広団地

ここが
聞きたい

車を気にせず歩ける道路を

問

高齢化社会で健康増進に関心が集まる中、やはり歩くことが大切。例えば太美基線川横の歩道は、車の心配なしで歩ける貴重な歩道。他にも安心して歩ける道路を増やすことが必要では。

答

現在、基線川堤防通路やライラック通りなどがあり、遊遊公園、阿蘇公園、当別川河川緑地などの園路もある。遊歩道の造成計画は、北海道と連携し、当別川かわまちづくり計画を進めている。

ここが
聞きたい

町長選挙時の公報チラシ

問

前宮司という記載について、手続き自体していないにも関わらず、その責任を神社責任役員会やコロナ禍のせいにするのは、二重の意味で許せない。その点の町長の見解は。

答

9月議会答弁が全て。手続きする立場になかったことを説明し、誤解を招きかねない状況になった点は不徳の致すところと答弁したもので、第三者やコロナ禍等に責任転嫁する意図は全くない。



一般質問

鈴木 岩夫 議員

質問の
ねらい

水田交付金見直し撤回を

第6波への備え、コロナ対策と地域医療体制の整備について質す。当別農業・地域を壊す水田交付金見直しについて町長の認識を質す。新庁舎建設にあたっては将来を見越したまちづくりを展望した計画になるよ

うに、また、十分な説明とともに町民の意見が反映する形で進められるよう質す。風力発電建設計画撤回について意見書が採択されたが、事業を止められるかは未確定である。止めるための方策について質す。

ここが
聞きたい

医療・介護施設に支援を

問 今ある医療機関が継続することが先決である。1つの医療機関の閉院に伴い、医療現場は苦勞しているが、町長の認識は。また、医療・介護施設に対する第3弾の支援を実施すべきでは。

答 閉院した医療機関からの患者受け入れに伴い、苦勞されている状況は十分認識している。これまでの支援と同様に医療、介護現場の実情を把握した上で、必要な対策を検討していく。

ここが
聞きたい

オール当別で阻止を

問 政府と自民党は11月30日、米の転作助成の柱となる水田活用直接支払交付金の見直しを固めた。実施となれば、農業が基幹産業の当別町は、大きな影響を受けると考える。町長の認識は。

答 農業者所得の減少、農地売買や賃貸価格の下落など影響は広範囲に及ぶ。国の動向を注視し、継続して農業ができるよう農協など関係団体と連携を図り国に必要な対策を講ずるよう要請する。

ここが
聞きたい

職員の奮闘に冷や水

問 クラスター収束、ワクチン接種推進など、職員が奮闘している姿は町民の知るところ。コロナ禍での一時金削減は、その奮闘に冷や水を浴びせるものではないか。町長の認識は。

答 コロナによって民間企業は厳しい状況と認識。人事院勧告に基づく一時金削減は、今回見送りとなったが、次の6月に調整するとの情報もある。国や他自治体の状況を見て対応していきたい。



役場職員の様子

ここが
聞きたい

トップ同士の協議を

問 新庁舎の建設場所について、50年、60年と町民に愛され、使い勝手が良い場所を選ぶことが一番価値がある。駅前の農協が最適地と考えるが、再度、農協とのトップ協議を開始しては。

答 建設期間や費用の観点から、建設場所は町有地が基本。これまでも農協とは情報交換を行っているが、農協用地の活用を含め、駅周辺のまちづくりの観点から、引き続き協議を行っていきたい。

ここが
聞きたい

建設反対の立場を明確に

問 巨大風力発電所について、今までの議会答弁、請願・陳情採択に基づき、町として建設反対の立場を明確にすべきでは。

と考えていることを重く受け止めている。建設の可否を国が判断する上で、地元自治体が意見を述べる場が確保されているので、そこで町民の声、議会の意向をしっかりと国や道に届けていく。

答 多くの町民が、この事業を進めるべきではない

一般質問

佐藤 立 議員



質問の
ねらい

リフレッシュ保育の周知徹底を

町内認定こども園に在籍していない幼児は、保護者の育児疲れの解消を目的とした、いわゆる「リフレッシュ保育」として一時預かり保育を利用することができる。認定こども園に在籍している乳幼児についても

同様に、保育認定の範囲内で保護者の育児疲れや通院のため保護者が自身で保育ができない場合に、こども園を利用することができることを確認するとともに、その周知徹底を求めた。



当別町子育てガイドブック



※ 詳細はこちらからご覧
になれます。(当別町の
ホームページへ)

ここが聞きたい いわゆるリフレッシュ保育

問

育児疲れや通院等で保護者が保育できない時に、こども園の園児はこども園を利用できるのか。また、保護者に対して、このことの周知はどのように行われているのか。

答

認定こども園の裁量で受け入れている状況。周知について、園ではクラスだよりを活用していくとのこと。教育委員会としても、今後、子育てガイドブックに掲載して周知に努めていく。

ここが聞きたい

10万円全額を現金で

問

子育て世帯への臨時特別給付は、子育て世帯を対象とした経済対策という制度の趣旨に立ち返り、利便性が高い現金給付が最適。10万円全額を現金で給付してはどうか。

答

まず5万円は、現金で年内に給付できるよう体制を整えていく。残り5万円は、ここ数日の報道のとおり国の方針も不透明なので、その動向を注視しつつ、年明け早々に給付方法を決定する。

ここが聞きたい

プレイハウスの業務委託

問

プレイハウス業務委託プロポーザル^{※1}で、プレゼンテーションも一般傍聴ができるようにすることや、保護者の代表の方に審査に加わっていただくことも検討をされているのか。

答

プレゼンテーションの一般傍聴については、検討していく。また、審査については、保護者の方にも審査委員として加わっていただくことを考えている。

ここが聞きたい

高学年のプレイハウス利用

問

プレイハウスは、5、6年生の利用が少ない。これを自然のことでありと終わりにせず、魅力あるプレイハウス作りに向けた取り組みが必要ではないか。

答

内容を子どもが面白い、保護者が良いと思うことは大事なので、子ども目線で考えていきたい。そういった面では、町の学童保育は良い内容で運営していると思う。

ここが聞きたい

12月28日の開園時間

問

プレイハウスでは12月28日は午後3時までの預かり。年末年始等も保護者に寄り添った形で開園時間の設定が必要だが、委託仕様書の中で指示等があるのか。

答

保育時間の延長を含めた融通性については、当然、業者選定の基準になると思うので、業者選びの中で判断していきたい。

※1 プロポーザル方式…業務委託先などを選ぶ際に、事業者へ企画提案をもらい、最も優れた企画提案をした事業者を選ぶ方式。



一般質問

五十嵐 信子 議員

質問の
ねらい

障がい児通学支援の充実を

障がいを持つ児童がやむなく町外へ通学する場合にも、移動支援が利用できるような制度を拡充させるべき。地域包括ケアシステムの仕組みづくりは、何より「地域づくり」である。太美地区にもその中心となる

地域包括支援センター分室を設置し、高齢・障がい・生活困窮・子育ての諸問題に、きめ細やかな対応ができる体制を目指すべき。地域の要望でもある危険の伴う道路や歩道の工事を進めるべきと質した。

ここが
聞きたい

地域の実情に即して実施を

問

障がいのある方の移動支援は、地域生活支援事業の必須事項として位置付けられており、内容は市町村の地域の実情に即して実施されることとなっているが、当別町の現状は。

答

単独で外出が困難な障がい者等が、映画鑑賞、買い物、理美容院の利用の際、介助を受けた場合は対象だが、通勤や通学等、通年で長期にわたる外出は対象外。他の多くの自治体と同様である。

ここが
聞きたい

通学を支援すべき！！

問

やむを得ず町外へ通学している児童は、毎日、保護者が自家用車で送迎することが条件となっているため、非常に大きな負担となっている。一日も早く通学支援の充実を行うべきでは。

答

充実させたいと考えている。特に冬の送迎の負担軽減を図る方策が、地域性を見ても重要。移動支援の拡充や送迎バスの運行などが考えられるので、教育委員会と連携し調査研究していく。

ここが
聞きたい

一目で分かりやすく！！

問

ゆとろ内の地域包括支援センター、社会福祉協議会の窓口が分かりづらいとの声がある。高齢者の立場に立ち、窓口が一目で分かるよう工夫すべきでは。

答

入口に館内案内図を設置しており、窓口に団体名の表示もしているが、迷われている方がいた場合には、職員が声をかけて案内している。工夫できる部分を工夫し、分かりやすい表示に努める。



ゆとろの窓口

ここが
聞きたい

西当別地区に分室を！！

問

地域の身近な相談窓口として地域包括支援センターは重要。西当別地区に分室を設置し、関係機関と連携して、要支援者や全ての高齢者へ、きめ細かに対応できる体制を目指すべきでは。

答

分室を設ける予定はない。地域包括支援センターは窓口の役割だけでなく、居宅介護支援事業所をはじめ関係機関と連携した対応があり、分室を設けても本来の役割を果たすことは困難。

ここが
聞きたい

道路の改修と歩道の整備を

問

危険な道路、歩道の整備は住民の長年にわたる願いである。高額な予算が必要にはなるが、優先順位を付けて、工事を進めていくべきでは。

答

危険性、緊急性などにより優先順位を付けて順次改修を図っている。限られた予算の中で、道路の機能確保に努めていく。

一般質問

山崎 公司 議員

質問の
ねらい

全国学力テスト 全国平均上回る

子育て世帯の転入拡大に向けて、「教育の当別」と言われるように、毎年全国学力テストの結果には期待しており、自慢出来るとうべつ未来学の内容と併せて質した。また、公共施設について、児童生徒、65歳

以上の高齢者、町外居住者の利用料金について見直しを求めた。次に、当別町の課題解決に向けて、近隣市町村との広域連携やさっぽろ連携中枢都市圏には期待しており、進捗状況と今後の将来像について質した。



次のページは

議案の審議結果

本会議では、多くの報告や議決が行われました。

ここが
聞きたい

全国学力テストの結果

問

報道によると令和3年度の全国学力テストでは、石狩管内の小学6年生は全国平均を下回り、中学3年生は全国平均を上回ったとのこと。町内4校の結果と今後の対策は。

答

小・中学生でいずれの教科も全国平均を上回った。今後も教科担任制や1人1台端末、習熟度別学習、少人数学習などにより授業改善を進め、全国平均をはるかに上回る成果を目指したい。

ここが
聞きたい

自慢のとうべつ未来学

問

当別ふるさと教育、国際理解教育、キャリア教育の3つの柱からなる「とうべつ未来学」について、令和3年度の実施内容と成果は。また、今後の予定は。

答

米作り等の生産体験、スウェーデンの日常や食文化を学ぶ学習、自分自身の将来について考える学習により、進路への興味や関心につながったと評価しており、今後も内容の充実に努めたい。



当別町総合体育館 (白樺町)

ここが
聞きたい

公共施設の適切な使用料金

問

公共施設を利用する人、しない人の受益者負担バランスの観点から、児童生徒は有料、町内外問わず高齢者は無料という現状の使用料を見直すべきでは。

答

児童生徒については、無料も含め負担軽減を考え、協議を進める。高齢者や町外利用者については、生涯学習や健康増進のため、交流人口増への配慮という理由から、現在、見直す考えはない。

ここが
聞きたい

さっぽろ連携中枢都市圏

問

協約には地域活性化、持続可能な経済、住民の安心で快適な暮らしの実現を目的に、圏域の経済成長の牽引、高次都市機能の集積・強化、生活関連機能サービス向上を行うとあるが、進捗状況は。

答

圏域観光ウェブサイトが多言語化、台湾、香港向けPR動画制作、移住促進イベント開催などを実施。令和4年度から、圏域公共交通計画の策定や公立夜間中学校の開校なども予定している。

ここが
聞きたい

未来技術の活用

問

圏域の目指す将来像として、住みたくなる、投資したくなる、選ばれる圏域へとある。特に未来技術を活用した圏域の形成が重要と考えるが、町としてはどのような取り組みを目指すのか。

答

GTFS^{※1}データを活用した公共交通のシームレス化^{※2}やデジタル図書の共有化、ビッグデータ活用の研究に力点を置き、デジタル田園都市の実現に向けた提案をしていきたい。

※1 GTFS…公共交通の経路や時刻表、リアルタイムの運行状況など、交通に関する情報の標準規格のこと。

※2 公共交通のシームレス化…電車やバスなど複数の公共交通の接続性を改良すること。